

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		部課コード	050100	2998-9211
事業コード	海外都市学生交流事業	担当部課	文化芸術振興課	
050105		グループ	国際企画	
開始年度 平成 3 年度		終了年度	年度	

事業の概要	事業の種類	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針				所沢市海外都市学生交流実施要綱
	関連・類似事業	中学生海外文化交流派遣事業			所沢市海外都市学生交流補助金交付要綱
	総合計画の体系	章 コミュニティ	節 国際社会	基本方針	国際交流活動の推進
事業開始の背景	青少年に国際感覚を身につけさせ、国際社会に対応する人材を育成することを目的に、姉妹都市交流事業の一環として、平成3年から米国・ディケイター市と高校生の相互交流を始めた。				

事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)				
	姉妹都市に高校生を派遣し、社会、文化等の交流を通して、外国人との相互理解を深めていくとともに、将来を担う青少年に広い視野から郷土、国家、国際社会を理解させることにより、次代を築く人材を育成していく。				
	対象(誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	9,330 人
	市内在住の高校生等			平成 27 年度	9,378 人
事業の具体的な内容及び実施方法	所沢市から高校生を姉妹都市である米国ディケイター市へ派遣し、一般家庭での2週間程度のホームステイを体験し、生活習慣や文化を体験する。また、ディケイター市からの高校生は所沢市内の家庭でホームステイし、日本の生活習慣や文化に触れ交流を深める。高校生が姉妹都市であるディケイター市を訪問し、さまざまな体験をすることにより、姉妹都市としての親睦をさらに深めるとともに、文化や生活習慣等の違いを理解し、今後の国際社会に対応できるようにする。なお、ディケイター市への派遣とディケイター市からの受入れは隔年で交互に実施している。				

経費	会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
	予算現額		941	1,008	1,056
	決算(見込み含む)		702	945	
	(非常勤特別職員) (臨時任用職員)	(人) (人) (人) (人)			
	正規職員人件費	0.40 人	3,488	0.68 人	5,889
	事業費合計		4,190	6,834	
財源内訳	一般財源	4,190	6,834	1,056	
	国・県支出金				
	その他()				

「財源内訳」について
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
	高校生派遣	派遣学生数	人	0	6	0	
	高校生受入れ	受入れ家庭数	世帯	8	0	11	

成果	項目名	項目説明	単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
	成果指標	派遣学生の帰国後の国際交流事業への参加人数	人	目標値 15	15	26	30
	実績	9	17	<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図る	<input type="checkbox"/> 「実績」縮小図る		
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています	%	達成率	60	113	どちらかをチェックしてください	

改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	本事業をよりよいものとするため、事業終了後、派遣学生及び保護者に対しアンケートをとった。これにより、本事業の意義を再確認するとともに、課題の洗い出しを行えた。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了	事業実施方法(複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	学生交流事業を行うことにより、外国人との相互理解をさらに深める必要があるため、今後も実施内容を検討しながら行っていく。
	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終了	次年度予算 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	理由	ホームステイをおとして様々な体験をすることにより、国際理解も高まるため、今後も必要である。
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況		(2)今後の方向性	
	国際化が進むなかで、将来を担う高校生が国際感覚を身につけることは重要なことである。姉妹都市との間でのホームステイによる交流は、文化や生活習慣のちがいが、同年代の外国人のものの考え方などを理解できることから必要と考える。		派遣学生、ホストファミリーを始め、本事業に協力いただいた方々の声を聞きながら、工夫を重ね、本事業をより意義深いものとしていく。	
評価日	H28.8.16	評価者職氏名	文化芸術振興課長 吉田 謙治	

環境影響	有益な環境影響	有害な環境影響を及ぼす原因活動	紙の使用、派遣学生の送迎等	規制を受ける環境法令等	無
				緊急事態	無